

オーライ! ニッポン大賞 審査委員会長賞

しま だ けん せつ かぶ しき かい しゃ
島田建設株式会社

なり た し
(千葉県成田市)



■受賞の内容

島田建設の歴史は1907（明治40）年の材木業創業（千葉県旭市）まで遡る。社長である島田氏は公共事業の受注が主体の建設業者の経営者として、もっと社会の役に立つ事は何かと考えて2000年4月1日に介護ショップを開店した。さらに健康長寿の手段として2002年に「園芸デイサービス」をオープンさせた。

島田氏はボランティア活動に参加するなど、もともとの分野への関心が高かったこともあるが、老人ホームの建設工事や介護が必要な家庭のリフォームなどの仕事が増えたことから、社会に役立つには介護分野の取り組みが大事だと考えたという。

多くの施設がコンクリートで作られた殺風景な雰囲気であることから、元気を出すには土に触れるのが一番であるという考えから園芸療法を導入したデイサービス施設である「園芸デイサービス」を自ら開業した。

園芸デイサービスでは通常の入浴・体操・個別のリハビリ・お茶などの他に、通所者が周辺の畑で農作業や草花の手入れを行うメニューを取り入れて、健康増進に役立っているのが特徴である。



■受賞者の概要

活動年数：13年

活動日数：年間250日

主な活動エリア：千葉県成田市、山武市、旭市

参加者数：年間約7,500人、累計約5万人

■写真の説明

- ・(写真上) 園芸療法の様子をNHKが取材。
- ・(写真左下) 福祉園芸講習会やセミナーを定期的に開催。
- ・(写真右下) 近隣の小学校の子供達と共にさつまいもを収穫。「園芸デイサービスうなかみ」の農場「ガーデン花子」。

園芸デイサービスの農場では、近隣の小学校と収穫体験を実施するなどの交流も生み出している。

最初の園芸デイサービスうなかみは2002年12月1日オープンした。以降これまでに千葉県内に計6か所が開設されている。園芸デイサービスの活動は、メディアにも広く取り上げられ、注目された結果農作業に興味を持つ入居者が増えている。園芸療法を広めるためには人材の育成が重要であることから、農を活用する園芸療法勉強会（理論と実習）を立ち上げ、これまでに千葉県成田市、八街市、千葉市、船橋市、柏市で36回開催している。

また、園芸福祉に関するセミナーやシンポジウムを60回以上開催し、2004年には千葉県の事業で千葉大学と園芸療法の共同研究を始めた。この活動を継続するためにNPO法人園芸療法勉強会を立ち上げた。

今後は、園芸デイサービスが併設された『サービス付き高齢者向け住宅』の第1号を香取郡神崎町に建設し、地方の人口減対策、高齢者や障害者の福祉対策、農業振興のための「農と福祉の郷」をつくる社会貢献事業を進めていきたいと考えている。



園芸デイサービスの開設に加え、千葉大学と園芸療法の共同研究を始めるためにNPO法人園芸療法研究会を立ち上げ、セミナー、シンポジウムを開催するなど異業種の取り組みとして大きな期待が持てる、新規性、モデル性の面から先進的な取り組みとして世に広めたい事例である、と高く評価されました。